

**「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業
成果と課題に関するアンケート【平成30年度～令和2年度全委託団体対象】**

本アンケートは、平成30年度～令和2年度までに、文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業を実施したすべての委託団体（再委託団体含む）に、具体的な実践研究の成果や今後の課題について、共通のフォーマットのもとでご回答いただき、文部科学省の今後の施策づくりに活かしていくことを目的にしています。御提出いただいている成果報告書等の記載内容と重なる点もあるかと思いますが、加えてご回答いただければ幸いです（必要に応じて欄を拡大して御記入ください）。

お忙しいところ恐れ入りますが、10月20日（火）までに文部科学省障害者学習支援推進室まで、御提出をお願いいたします。

1. 本アンケートの回答者について伺います（集計の際は匿名とします）。

団体名：

氏名：

所属：

電話：

メール：

2. 実践研究として実施した学習プログラムの参加者について伺います。

・委託事業を実施前の各地域の障害者の生涯学習をめぐる状況、当事者のニーズ等に対する地域資源の課題などについて教えてください。

・実施した学習プログラムに参加した障害者本人の感想・要望等、具体的な「声」や変化について教えてください。

(案)

- ・実践研究として当初想定していた学習プログラムから、新たに起こった継続的な取組（自主的なサークル活動が生まれた、参加者の声から新たなプログラムが開発されたなど）があれば、教えてください。

- ・学習プログラムに参加した障害者本人が学びの成果を活かした事例（進学、就職、転職、地域活動や趣味などを通じた社会参加等）や調査結果（アンケートから自己肯定感や学習意欲、就業意欲が向上したことがわかったなど）があれば、教えてください。

3. 障害者の生涯学習活動を支えた「人」について伺います。

- ・実践研究事業のコーディネーターや事業推進者は、どのような役割を担い、誰（内部・外部）と連携しながら事業を推進したのか、具体的に教えてください。

- ・障害者の生涯学習を推進するコーディネーターや事業推進者には、どのような専門性や経験等が求められると考えますか。具体的に教えてください。

(案)

4. 障害者の生涯学習活動を支え、また推進した「ネットワーク」や「システム」について伺います。

・連携協議会などの取組や効果的な事業の推進にあたって、連携がもっとも必要になった関係者（関係機関）の相手方について、その理由も含めて教えてください。

・より効果的な連携関係やネットワークを形成するために、重要になるポイントはなんですか。そのためにはどのような仕組みが必要になるか、教えてください。

・実践研究事業を通して生まれた取組を持続させるために必要なことはなんですか。活動継続に向けた課題などについて教えてください。

5. 事業の成果と課題に関わって、その他自由に御記入ください。